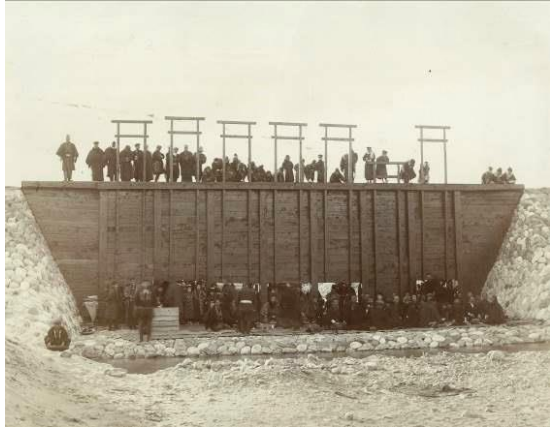


安曇野市市民協働事業提案制度

事業名 懐かしき安曇野の水のすがた～移り変わりの記録～

協働事業 実施団体名	NPO 法人川の自然と文化研究所	安曇野市	教育部 文化課
代表者名	吉田 利男	代表者名	課長 那須野 雅好
活動拠点所在地	安曇野市豊科 2209-1		
事業実施総額	486,000 円		
事業実施日・期間	平成 29 年 11 月 15 日～平成 30 年 3 月 31 日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p><事業概要></p> <p>安曇野市の水と水辺に関わる昔の姿とその変遷を映し出す写真を収集してデータベース化し、貴重な地域資源として保存管理するとともに、今後のより良い安曇野の水の在り方、湧水と水辺を生かしたまちづくりに資する資料とする。</p> <p>その内容として</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 写真収集：広報周知、収集先リストアップ、写真提供依頼、収集 2) 写真整理：収集写真の情報整理表（キーワード等）の作成、スキャンニング、写真撮影展示用写真の作成、聞き取り調査 3) 写真展および講演会の開催：収集写真の一部を用いた写真展、水辺の姿の今昔に関する講演会 4) 背景情報の収集整理：収集写真と関係のある時代背景の整理 5) データベース化：収集写真の情報整理結果を用いた検索システムの構築 6) 収納：電子データ、データベースの保管先への収納 7) 活用策の検討、データの更新：収集写真の利用方策、システム運用、管理ガイドラインの検討 <p><成果></p> <p>提供を受けた資料からスキャンした写真の中から企画に合った古写真を選別し、3月3日の発表会と3月21日の講演会の展示資料とする。</p> <p>具体的には、熊井秀雄氏（明科）から約 200 点、南安曇教育会から約 300 点、寺島堅氏から約 80 点、その他（堰土地改良区等）から約 300 点の提供を受け画像取り込みを行っている。</p> <p><今後の展望></p> <p>散逸や劣化の危機にある写真や資料を幅広く収集できること、作業の各段階で進捗確認と課題対応ができること、収集すべきと考えられる写真等を系統的に効率よく整理・保管できることが期待できる。</p> <p>展示会を機に、一般市民の方々に古写真に対する意識を改め、見直してもらい、自分の周辺の写真に目を向けてもらいたい。</p>		



拾ヶ堰頭首工水門改修工事(大正年代)



眼鏡橋竣工式(大正 10 年)



木戸橋と犀川の舟下り(昭和初期)



高瀬川橋上堤防修繕工事記念写真
(明治 44 年)



電子情報化に用いた機器 (一部)

	協働事業実施団体	市
役割分担	1 写真等借用収集 2 収集写真等の背景情報収集と聞き取り調査 3 資料の電子データ化(スキャン)データベース作成(cd ロム作成) 4 展示資料の作成 5 講演会準備と運営	1 古写真所在調査 2 借用手続き 3 資料返却 4 写真展・講演会広報 5 その他 関連情報提供